

平成29年度 地域ケアプラザ事業計画書

1 施設名

戸部本町地域ケアプラザ

2 事業計画

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのようにおこなっていくのか、具体的に記載してください。

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分（区と協議の上、策定して下さい。）

1 全事業共通

地域の現状と課題について

- ア. 人口の大きい平沼一丁目・中央一丁目・中央二丁目は、横浜駅や戸部駅周辺にして平坦な立地からマンションが立ち並び、比較的若い世代も多く住み、高齢化率は20%以下と低くなっています。但し、若い世代は地域支援に必要性を感じない個人主義の生活を好み、またマンションという環境から生活状況を把握しにくく、地域の繋がりが希薄な傾向にあります。町内会自治会では、これらの若い層を子育てや子供の活動から親世代を巻き込み、地域活動へ繋げる工夫をするなど、若い世代をいかに地域活動へ誘致するが課題となっています。
- イ. 高齢化率30%に迫る御所山・西戸部町3丁目・西前町は駅より遠く、坂の多い戸建ての地域であり、そもそも高齢者の生活しにくい環境にあります。しかし一方で、古くからの住民同士で近所付き合いがあることも多く、地域の緩やかな見守り支援が存在しています。とはいえ、少ない担い手への負担が大きく、担い手を増やすこと、買い物やゴミ出しといった生活課題を生活圏内で解決できる支援が早急に解決すべき課題と言えます。
- ウ. みなとみらい地区は、人口の大きさから高齢者数も多くなっています。密室となり易いタワーマンションでの生活は、地域との繋がりを断絶しやすい反面、生活全般に自己決定を要する場面も多く、住民自身が健康への不安をいち早く察知しやすいという一面があります。その為、包括への相談も本人からのものが最も多く、自ら情報を収集できる場合が多いといえます。課題としては、住民同士の何らかのネットワーク構築とケアプラザ及び包括の役割・機能周知が必要といえます。
- エ. 各地域別高齢者数と包括への相談件数はおおよそ比例しており、唯一高齢者数に対して相談数の少ない中央二丁目については、ケアプラザよりも区役所が立地的に近いためと考えられます。地域住民に対し、ケアプラザや包括が地域相談窓口であるということが、ある程度周知されてきたことがわかります。今後は、地域包括ケアシステム構築を明確な目的とした様々なネットワークの構築が地域への共通した課題です。

(1)相談（高齢者・こども・障害者分野等の情報提供）

- ア. 地域福祉の総合相談窓口として、高齢者・こども・障害者各分野の会議に参加し、また個別支援等の機会毎に関係各所と継続して連携を図ります。
- イ. 得られた情報はケアプラザ内で常に共有と整理し、誰もが適切な支援を行えるように取り組みます。
- ウ. 個別ケース支援等を通して、それぞれの分野における地域課題を検討し、解決に向けた協力・協働しながら地域の住環境改善に努めます。

(2) 各事業の連携

- ア. 地域包括支援センターの3職種と地域活動交流担当、生活支援コーディネーターの専門性を活かし、チームで総合的支援を行います。
- イ. 5職種会議を毎月開催し、地域の情報や課題を共有・分析した上で支援の方向性を協議します。会議の内容は記録し、ファイル管理します。
- ウ. 個別相談や地域の課題をふまえ、自主事業の実施や地域の体制づくりへと繋げていきます。地域ケア会議開催や協議体設置においては、5職種で連携して取り組みます。

(3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

各職種の資格要件等、確認事項については継続的に確認を行います。
人員配置基準を満たす配置を継続的にを行います。欠員が生じた場合は、法人本部との連携により、速やかに補充できるように努めます。
法人、事業所の年間研修計画をもとに研修を実施します。特に個人情報の取り扱いについて、重点的に研修を実施し、事故防止に努めます。
公正・中立の立場であるという意識を事業所内で更に意識づけていくために、職種、全体の会議等で確認を行います。

(4) 地域福祉保健のネットワーク構築

- ア. 医療・福祉・地域の関係機関、関係団体との連携を図り、様々なネットワークを拡大、強化し円滑な地域支援を行います。
- イ. 区役所、区社会福祉協議会、区内他地域ケアプラザと連携し、より広い視点から地域課題の解決に向けて取り組みます。
- ウ. 関係機関をはじめ、地域住民、地域団体、障害者施設、貸室利用団体の繋がりのお機会の充実を図り、福祉保健活動の推進に取り組みます。

(5) 区行政との協働

- ア. 第3期地域福祉保健計画の推進に向け、地区別計画では地域支援チームとして地区別懇談会等を通して目標の達成、行動計画の実行に向けて、区役所、区社会福祉協議会との連携を強化し支援します。また、全体計画においてはケアプラザ連絡会や各職種連絡会、講座等で情報の共有、地域課題の解決に向けて取り組みます。地域団体の活性化や団体間の繋がりづくり、社会資源の発掘を目的として、区役所、関係機関と協働で地域福祉保健ネットワークの構築、繋がりのお機会の充実を図ります。
- イ. 生活支援体制整備事業の推進に向け、区役所、西区社会福祉協議会と連携して取り組み、地域情報の共有、協議体の設置、地域への発信に取り組みます。
- ウ. 消防署、警察署、幼稚園、学校等の機関との連携を図り、地域の様々な年代に福祉保健の啓発をします

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

地域の実情やニーズに対応した事業を企画、展開します。また、事業の目的を明確化し、実施後はアンケート等で事業成果や課題等の振り返りを行います。

ア. 高齢者支援事業

地域包括支援センター及び生活支援コーディネーターと連携し、介護保険制度の周知介護予防に取り組みます。また、閉じこもり防止や仲間作りなどを目的に、外出の機会を提供し気軽により参加しやすい内容を検討します。

中高年からの介護予防・体力維持向上、繋がりづくりを目的とした事業の開催や地域での事業展開などで事業参加者の拡充に努めます。また、今年度より自主事業から自主化した団体には、スムーズな福祉保健活動ができるよう後方支援します。

イ. 子育て支援事業

地域の子育てに関する現状を把握し、関係機関、関係団体と協働で乳幼児養育者の居場所の提供、仲間作りに取り組みます。母子の孤立防止や育児不安、ストレスの解消のための企画や情報提供を行い、地域との繋がりづくりをします。また、乳幼児養育者への啓発として関係機関と協働で父親参加の事業を開催し、乳幼児父親の支援、父親間の交流に取り組みます。

ウ. 障害児者支援事業

自立支援協議会を基盤に近隣の障害児者施設、区役所、区社会福祉協議会と協働で障害児者支援事業の見直し、検討を行います。また、区役所、関係機関と連携し障害児親子を対象とした事業の継続をします。

エ. 人材育成事業

地域の担い手となる社会資源を発掘するための啓発講座や人材育成のための事業に積極的に取り組みます。

区社会福祉協議会と協働で事業を開催し、社会資源の発掘に努めます。

オ. 地域との連携・交流

地域団体、関係機関、ボランティア団体と協働で、地域住民のつながりづくり、連携強化を図ります。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

ア. 貸室においては、地域住民の福祉保健活動等の場として活用していただけるよう周知し、快適かつ安全に活動できるよう衛生的な諸室の管理を心がけます。また、団体が有効に活用していただけるよう公平な場の提供、最新空き情報の公開等、継続的に活動を支援します。地域ケアプラザ施設利用マニュアル改定に伴う、団体の利用登録にあたり、わかりやすい説明をするとともに地域における福祉保健活動の推進を図るよう働きかけをします。

イ. 団体の活動が継続、活性化するよう支援します。また、団体の活動が更に福祉保健活動に発展するよう自主事業への協力、地域への派遣等の場の提供を積極的に働きかけます。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

ア. ボランティア活動の継続、意欲向上を図るため、ボランティア相互の交流およびネットワークの構築を行い、福祉保健活動の活性化を図ります。自主事業から自主化した団体が地域活動に発展し、継続的な活動となるよう積極的な働きかけや後方支援に努めます。

イ. 次世代を担う新たな人材の確保のためにボランティア講座や自主事業等を通して啓発し、社会資源の発掘に努めます。また、よこはまシニアボランティアポイント制度の周知、説明会を継続して行い、65歳以上の方のボランティア活動の推進に取り組みます。

ウ. 区社会福祉協議会等、関係機関と協働でボランティアグループの活動支援、人材の育成に取り組みます。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ア. 自治会町内会、地区社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会など地域の関係団体と連携を深め、社会資源やニーズの把握に努めます。また、地域団体が運営する子育て支援事業、高齢者サロン、会食会等に出向き、活動状況を把握するとともに啓発、情報提供を行います。
- イ. 関係機関、ボランティアグループ等より地域情報を収集・整理し、地域団体の活動状況を把握するとともに地域課題の抽出や情報提供に努め、課題の解決に向けて取り組みます。
- ウ. 自主事業参加者、貸室利用団体等へアンケートを実施し、ニーズの把握・情報の収集に努めます。
- エ. 地域ケアプラザの役割や福祉保健の情報をよりわかりやすく発信します。また、自主事業や地域の情報等を地域版広報紙、ケアプラザ掲示板、ホームページ、チラシ等、対象者が情報を得やすい媒体を活用し、定期的または随時、地域に発信します。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

- ア. 生活支援コーディネーターの役割について各地域へ継続して発信します。
- イ. 地域で取り組んでいる会合等には積極的に出向き、常に地域情報を収集します。
- ウ. 5 職種会議を毎月開催し、地域の情報共有を図ると共に、地域課題の抽出や支援策を協議して地域課題の解決を働きかけます。
- エ. 他ケアプラザや区役所、区社会福祉協議会等、関係機関と定期的な連携の機会をもち、地域支援を図ります。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- ア. 地域の行事や民生委員児童委員協議会などの会議に積極的に出向きます。
- イ. 自治会町内会、民生委員、地区社会福祉協議会の役割や活動をアセスメントシートや報告書に記録し、地域のニーズ・現状把握に取り組みます。また、その情報を 5 職種会議にて毎月共有していくことで、5 職種全体で地域支援に努めます。

(3) 連携・協議の場

- ア. 5 職種で連携し、担当エリアの地区別、町別の現状をグラフ化します。また、年齢別人口の割合、年度別介護認定者数の割合、年度別介護度別の認定者数の割合、エリア毎の全世帯数から見た 75 歳以上の独居高齢者数の割合等をグラフ化し、可視化していくことで、課題や現状を共有します。
- イ. 区役所、区社会福祉協議会の支援のもとケアプラザ内で連携し、地区単位での協議体の計画・開催を行います。また、それを基盤に分科会を設置した地区においては、各分科会への支援を継続的に行います。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- ア. 人口比率・高齢化率・介護認定率の統計や地域の地理的特性を把握するとともに、行事には継続的に参加し、担い手や地域住民からの情報収集を行い、地域ごとのニーズ・課題を抽出して取組事項の設定を行います。
- イ. 地域住民に生活支援体制整備事業と生活支援コーディネーターの役割を認識してもらえるよう、民生委員児童委員協議会・シニアクラブ・自治会町内会に出席し、意見交換を行います。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

①地域におけるネットワークの構築

- ア. 医療（医師・訪問看護・医療相談室等）、地域（町内会自治会・民生委員児童委員・ボランティア）、福祉（ケアマネジャー・サービス事業者）と地域ケア会議や協議体・研修などを通して連携を図ります。
- イ. 地域サロンや地域の会合に参加し、包括支援センターの機能・役割を周知します。
- ウ. 総合相談票のデータを分析し、地域支援者と地域課題の抽出、共有、解決を図ります。
- エ. 地域住民の福祉・保健に関する情報をわかりやすく提示・提供できるように整理します。

②実態把握

- ア. 地域毎のファイルを作成し、統計データ・各種会議・地域活動参加記録などにより、地域の特性を把握します。

③総合相談支援

- ア. 住民や民生委員児童委員と日頃より相談しやすい信頼関係を構築し、いつでも相談が受けられる体制を作ります。
- イ. 個別相談では、必要な支援やサービスをいつでも誰もがわかりやすく提供できるように社会資源情報を整理し、一覧表にします。
- ウ. 個別相談では、必要に応じて支援者ネットワークを構築し、迅速・適正な支援を行います。
- エ. 総合相談内容を分析し、地域課題の抽出に活用します。

(2) 権利擁護業務

①成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- ア. 区内ケアプラザの社会福祉士で協力し、住民を対象とした成年後見制度を周知する講座を開催します。
- イ. 消費者被害予防では、地域サロンや食事会など、住民にとって身近な場で具体的な情報提供を行うなど、わかりやすい周知を工夫します。
- ウ. 区内社会福祉士及び地域交流コーディネーターと協力し、地域支援者を対象に「ダブルケア」講座を開催します。介護と子育て等、負担を抱える住民への理解と支援の必要性を周知します。
- エ. 個別ケース支援では、区や他専門職種・医療機関と連携し、あんしんセンターや任意後見制度含めた制度利用を迅速かつ適切に支援します。

②高齢者虐待への対応

- ア. 区内ケアプラザの社会福祉士で協力し、サービス事業所を対象とした高齢者虐待防止研修を開催します。
- イ. 早期発見・早期対応できるよう、医療・福祉・地域支援者と日頃より信頼関係の構築に努めます。
- ウ. 個別相談ケースでは、個別カンファレンス・定例カンファレンスを開催し、迅速かつ適正な対応を行います。

③認知症

- ア. 商店・企業・スーパー等を対象に「認知症サポーター養成講座」を開催します。
- イ. 「介護者の集い」を定期開催し、介護者の負担軽減を図ります。
- ウ. わたぼうしカフェ（認知症カフェ）への後方支援を継続して行います。

（３）包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

①地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ア. 地域へ積極的に出向き、地域包括支援センターの役割や介護保険制度の利用方法（自立支援の視点を踏まえた介護保険利用や総合事業についてケアマネジャーの役割、インフォーマルサービス等）などを周知します。
- イ. 地域住民や関係団体とケアマネジャー・介護保険事業者がお互いの役割を理解し連携ができるよう、ネットワーク構築の取組を行います。
- ウ. 関係機関が地域課題を一緒に考え、地域の特性、地域の情報共有ができる支援を行います。
- エ. ケアマネジャーの持つ課題把握の為に、ケアマネ研究会やケアマネサロン等で情報収集していきます。・ケアプランにインフォーマルサービスを取り入れることができるよう、地域情報を収集・整理した一覧表を作成し、情報提供を行います。

②医療・介護の連携推進支援

- ア. 医療・介護の連携のため、顔の見える関係作りや相互理解を目的に、意見交換が出来る多職種ミーティングを開催します。
- イ. 在宅医療連携拠点との更なる連携強化に努め、支援を必要とする方に迅速・的確な支援を行います。また、在宅医療ニーズへの支援を考える事例検討を行います。
- ウ. ケアマネジャーと医療機関との連携推進を図る為に、ケアマネサロンの場等で互いの情報交換ができる取組を行います。

③ケアマネジャー支援

- ア. ケアマネジャーが気軽に地域包括へ相談できる関係性を構築し、効果的支援が行えるようなサポート体制を作ります。また、支援困難ケースなどはケアマネジャーと密な連携を図り、対応していきます。
- イ. ケアマネジャーの資質向上を目的に、ケアマネジャー自身が課題解決が出来るよう、ケアマネサロンや新人ケアマネ研修の計画を立て開催します。
- ウ. ケアマネ研究会に地域包括として積極的に関わり、ケアマネジャーと顔の見える関係作りに努め、ケアマネジャーのニーズ把握とネットワーク作り支援を行います。

（４）多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- ア. 個別ケース地域ケア会議を適宜開催し、多職種が専門性を活かした意見交換を行い、関係職種間の連携と質の向上ができるように支援します。
- イ. 個別ケース会議から見える個別課題および地域課題解決に向けて、地域包括エリアの地域ケア会議を効果的に開催できるように取り組みます。
- ウ. 地域課題解決に向け、地域の関係機関等と連携し地域包括ケアシステム構築に向けた地域づくりの取組を行います（地域包括ケアシステムの周知を含む）。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援

事業)

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- ア. 地域が実施している介護予防に関する事業の数や内容の把握に努めます。
- イ. サービス担当者会議に出席をし、インフォーマルサービス等の案内をします。また、本人主体の活動や参加につなぐ視点で行います。
- ウ. 介護予防講座や元気づくりステーション等で欠席者を把握します。6ヶ月程度欠席の方には電話連絡や訪問を行い、訪問型短期集中サービス等相談をしていきます。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

- ア. 「ロコモ」の認知度向上や啓発を進めます。介護予防講座のタイトルは「ロコモ体操」とし実施していきます。
- イ. 介護予防に取り組むグループの把握に努めます。マンション単位で実施中のサロン等に出向きロコモ度測定を実施し、各グループを支援します。
- ウ. 地域活動支援では、日ごろから地域の担い手として活躍をしている方を対象に、気軽に出来る体操の実施をします。
- エ. ケアプラザまで遠い方のために、地域の会場を借りて介護予防講座を実施します。

その他

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

- (ア) ご利用になる方の安全確保を最優先するとともに、地域の皆様が快適に安心して利用できるような施設、設備の管理・保守に努めます。
設備の定期点検は専門業者が行い、不具合には速やかに点検修理を行います。
エレベーター、自動ドアなどの保守点検も定期的に実施します。
- (イ) 施設内は毎日の清掃、月1回の休館日に実施している全館清掃、定期的な空調の清掃など年間計画の通りに実施し、清潔を保持しています。
- (ウ) 感染症などの対策として、消毒液で手すり等の拭き掃除を実施します。
1階通路に消毒液噴霧器を設置し、トイレ利用のお客様にも使用して頂きます。感染症の流行時期には職員のマスク着用を義務付け、予防に努めます。お食事の提供に際しても、スタッフへうがい、手洗いを励行し、スタッフ研修を実施しています。さらに、殺菌庫や食器洗い機の使用の励行など、感染症の予防対策を行っています。
- (エ) 定期的に施設の植木の剪定を実施し、建物の美観を保っています。

イ 効率的な運営への取組について

- (ア) 20か所のケアプラザを運営する法人本部、各事業所と連携を図りながら、必要物品の共同購入、リース業者との契約、職員採用の効率化を図ります。
- (イ) 人員配置基準を遵守するだけでなく、さらにサービスの質の向上を目的とした職員配置を継続し、サービスの質の向上に努めます。

ウ 苦情受付体制について

法人の定める苦情解決規則に則り、ケアプラザにおいても苦情解決担当者、苦情解決責任者を設けて、お客様からのご意見、ご要望、苦情等に対応致します。また、法人でも公正・中立な立場からあつせん、調整を行う第三者委員を設置し、苦情の適正な解決に向けて取り組めるような体制を整えています。皆様からお寄せいただいた苦情は毎月、法人本部にて苦情の分析を行い、その結果は所内会議において職員に周知し、再発防止などに活かしています。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- (ア) 緊急時に的確に行動ができるように、継続的に各種マニュアルの見直しを行うとともに、特別避難場所としての職員それぞれの役割がイメージでき、共有できるように事業所全体にしっかりと周知します。
- (イ) 各種関係機関と連携して実践的な防災訓練の実施、応急備蓄物資の適正な整備管理、整備を行います。

オ 事故防止への取組について

事業所内での事故防止に関する研修、ヒヤリハット事例の振り返りなどを通じて、全職員が事故予防に対する意識を高めます。事故発生時は速やかに誠意をもって対応します。同じ事故を繰り返さないように、発生後の振り返りをしっかりと行っています。事故後に決められた予防策については、職員会議の場などで適切な対応であるか振り返りを行います。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

- (ア) 定期的な研修の実施、自己チェックの実施、マニュアルの徹底など、万が一にも個人情報に関する事故を起こさない、という意識で事業所内、法人内のルールを所内で周知します。
- (イ) 個人情報の管理は、書庫の施錠など郵送物、FAX 送信時のダブルチェック、他事業所からの持参物を窓口でチェックをするなど、法人で定めているルールを遵守し、事故の発生防止に努めます。

キ 情報公開への取組について

- (ア) 法人で定めた情報公開規程に則り、情報開示の申し出があった場合には適正に対応します。
- (イ) ケアプラザでは、ホームページを定期的に更新し、各種事業に関する情報や運営についての情報を公開しています。介護保険事業の記録開示については、申し出があった際に関係機関と連携を図り積極的に迅速に対応します。

ク 人権啓発への取組について

定期的開催している法人主催の人権研修へ出席します。
事業所内においては、人権研修の伝達研修以外に、プライバシーの保護、虐待防止に関する研修などを行い、所内の全職員が人権啓発に取り組みます。

ケ 環境等への配慮及び取組について

- (ア) 日常的にごみの分別、適正な処分を心がけ削減に努めています。
夏季にはクールビズ、冬季にはウォームビズを励行し、省エネルギーに努めていきます。水の使用方法の見直しを行い、節水に努めます。
- (イ) 日頃より施設内の不要な照明の消灯を行い節電に努めます。
- (ウ) ケアプラザまつりなどイベント開催時には、環境事業推進委員の協力のもと、分別 BOX によるごみの収集を行い、地域の皆様にもごみの分別について啓発を行います。

介護保険事業

● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

兼務	地域包括支援センター	保健師担当看護師	1名
		主任ケアマネジャー	1名
		社会福祉士	1名
兼務	非常勤職員	介護支援専門員	2名

《目標》

- ア. お客様の自立に向けた目標指向型のケアプランを作成します。サービスの導入にあたっては、ご本人に意欲を持って取り組んで頂けるよう実現可能な目標の設定を行い、ご本人とともに振り返りを行います。
- イ. 要支援1・2の既成サービスに該当しない方については、地域包括支援センターや地域活動交流と連携して地域で行っている事業や活動を紹介します。
- ウ. 区役所をはじめとした関係機関や地域住民との連携により、公正中立な立場にたった介護予防ケアプランを作成し、サービス事業所との連絡調整を行います。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 担当者もしくは居宅介護支援事業所の介護支援専門員が通常サービス提供地域を越えて訪問する際には、交通費の実費をいただくことになっています。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ア. 要支援者・二次予防事業の参加者を対象として、平成29年度も新たな介護予防事業やボランティア講座を実施します。
- イ. 地域包括支援センター3職種が、それぞれに専門性を持ちながら共通認識を持って対応できるように、所内にて定期的に会議を行います。また、日常的に情報交換を行い、協力体制を敷いて、個別ケースを多面的、総合的に解決できるように取り組みます。

《利用者目標》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
162	162	162	159	157	156
10月	11月	12月	1月	2月	3月
155	154	154	154	154	153

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

代表者（ケアプラザ所長）	1名
管理者（主任介護支援専門員）	1名
介護支援専門員	3名（常勤） 2名（非常勤）

《目標》

- ア. ケアマネ自身の質の向上に努め、より良いサービスの提供に努めます。
- イ. 公正中立な立場に立ち、総合的かつ効率的サービスの調整に努めます。
- ウ. 地域包括支援センターと連携し、地域ケア会議へも積極的に参加します。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

ア. 交通費について

通常の事業実施地域を越える地域に訪問・出張する必要がある場合には、お客様及びご家族等に対して事前に文書で説明した上で、支払に同意する旨を同文書に署名・捺印して頂きます。

公共交通機関を利用の場合・・・公共交通機関の運賃分

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ア. 『特定事業所加算Ⅲ』を取得した事業所として、週1回の所内会議を開催し、研修・情報交換などを行います。個人の研修計画、業務目標を達成できるように積極的に外部研修への参加や情報交換を行い、個々の介護支援専門員の資質の向上に努めます。
- イ. 地域ケアプラザにある居宅介護支援事業所として、困難事例の受け入れ、担当ケースの迅速な対応を心がけています。また、地域包括支援センターと密に連携を図り、より良いサービスの提供のみならず、地域に根差した事業所としての役割を果たしています。

《利用者目標》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
105	111	112	110	116	117
10月	11月	12月	1月	2月	3月
117	120	118	120	119	119

● 通所介護事業

《提供するサービス内容》

- ア. お客様のニーズに即した通所介護計画書の作成・生活指導（相談援助等）・機能訓練（日常動作訓練）・介護サービス（移動や排泄の介助、見守り等）・健康状態の確認・送迎・食事・入浴などのサービスを提供します。また、ご希望に応じて個別機能訓練、口腔機能向上のためのプログラムを実施します。
- イ. 通所介護サービス計画は、お客様やご家族の意思を尊重し、心身の状況や生活環境等に応じて、お客様が自立した日常生活を営むことができることを目的に作成します。また、計画の作成・評価にあたっては、必要に応じてお客様やご家族への聞き取り、お宅への訪問など状況確認を行います。
- ウ. サービス提供にあたっては、介護支援専門員や関係行政機関、地域の保健・医療・福祉サービス、ボランティア団体等との綿密な連携を図り、総合的なサービスの提供に努めます。
- エ. サービス提供時間を有効に活用いただけるように、麻雀、書道、絵手紙、カラオケなど、お客様に選択して頂ける少人数対象のプログラムをご用意しています。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

ア. 1割負担分

（要介護1）	704円
（要介護2）	831円
（要介護3）	963円
（要介護4）	1,095円
（要介護5）	1,227円

※2割負担分（対象の方のみ）

（要介護1）	1,407円
（要介護2）	1,622円
（要介護3）	1,926円
（要介護4）	2,189円
（要介護5）	2,453円

イ. 加算

サービス提供体制強化加算（Ⅱ）	7円（2割負担分：13円）
入浴加算	54円（2割負担分：108円）
個別機能訓練加算（Ⅱ）	60円（2割負担分：120円）
口腔機能向上加算	161円（2割負担分：322円）
送迎減算（片道）	-51円（2割負担分：-101円）
介護職員処遇改善加算	1か月のご利用単位数の1,000分の59に相当する単位数の料金

ウ. 食費負担 650円

エ. キャンセル料金 450円（食材料費相当）

《事業実施日数》 週 6 日（月曜日～土曜日）

※年末年始（12月29日～1月3日を除く）

《提供時間》 9：40 ～ 16：45

《職員体制》管理者

生活相談員	1名
看護職員	3名（常勤兼務3名）
介護職員	4名（機能訓練指導員兼務）
	26名（常勤1名 常勤兼務3名 非常勤22名）
機能訓練指導員	4名（看護職員兼務）
調理員	6名
ドライバー	4名

《目標》

- ア. 自立支援の観点から、お客様の目的に合わせたサービスを提供します。
- イ. お客様が安全に、リラックスしてお過ごしいただける雰囲気づくりに努めます。
- ウ. お客様やご家族からのご要望には真摯に耳を傾け、信頼関係づくりに努めます。
- エ. 職員、スタッフへの研修を計画的に行い、介護に関する知識や技術の向上に努めます。また、外部研修の受講など自己研鑽を支援します。
- オ. 地域包括支援センター、居宅介護支援事業所との連携を密に図り、お客様・ご家族のニーズにあった適切なサービスを迅速かつ確実に提供できるように努めます。
- カ. 地域活動交流事業との連携により、ボランティアの協力を得て、お客様のニーズに沿ったサービスプログラムを実施します。
- キ. 個人情報の取り扱いに関する手順をしっかりと守り、管理の徹底を行います。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

ア. 主な取り組み

- (ア) お客様の能力、生活状況に応じて自立支援の観点から支援を行います。
- (イ) 日常生活上の課題をお持ちのお客様については、ご希望により通常プログラムとは別に機能訓練を行い、定期的な訪問、計画の評価を行います。
- (ウ) お客様全員を対象に、食前の嚥下体操、食後の口腔ケアをしっかりと行い、口腔内の健康と嚥下能力の維持に努めます。
- (エ) 書道、折り紙、塗り絵、カラオケ、麻雀、絵手紙、脳トレなど、お客様の心身の活性化につながるプログラムをご自身で選択できるようにご用意しています。
- (オ) 季節感を感じて頂ける年間行事の他、シルバー体操指導員をお招きしてのリハビリ体操、近隣へ外出する戸外機能訓練など、機能訓練の要素を盛り込んだプログラムを実施します。
- (カ) 演芸グループ、アニマルセラピー、楽器の演奏など様々なボランティアの方々をお招きし、お客様に楽しんで頂きます。
- (キ) 家族会を開催し、お客様のご様子を直接ご覧いただき、プログラム、お食事の紹介を行います。ご家族同士の交流の場、通所介護に対する理解を深めて頂く場として開催しています

イ. 入浴

- (ア) ゲルマニウム温浴で温泉気分を楽しんで頂くとともに、季節行事として、しょうぶ湯、ゆず湯などのお湯を楽しんで頂きます。
- (イ) お客様の体調にあわせてご利用いただけるように、大浴槽、小浴槽と湯温の違う2種類の浴槽を用意しています。
- (ウ) 車いすの方でも安心して入浴して頂けるように、入浴用のリフターを設置しています。

ウ. お食事

- (ア) 厨房スタッフが十分に栄養バランスを考えた献立を作成し、手作りで提供しました。また、毎月のテーマを決めて、季節の味覚を取り込んだボリューム満点の美味しいお食事を提供します。
- (イ) お誕生日週間は、お客様に様々な味覚を楽しんで頂けるように、地域の和菓子屋さんへの注文や全国銘菓のお取り寄せを行います。
- (ウ) 全てのお客様に美味しく、安全なお食事を提供できるよう、お客様にお食事のアンケートを行います。毎月の厨房スタッフ会議の中で献立の見直しを行い、より安全に美味しいお食事の提供を行います。
- (エ) 楽しめるお食事の提供という事で、出張寿司、バイキング食、おやつのバイキング等などのイベント食を実施します。

エ. スタッフ教育

- (ア) ナース会議、スタッフ会議、厨房会議、ドライバー会議など定期的に会議を実施し、情報の共有とより良いサービスを提供するための話し合いや研修を実施します。
- (イ) 年間研修計画を作成し、スタッフ一人ひとりが自分で考え、行動できるように必要な知識（個人情報保護、接遇マナー、倫理について、事故防止など）や介護技術の向上に関する研修を実施します。
- (ウ) サービスの質の向上、職員スタッフのスキルアップを目的に、お客様のカンファレンスを行い、介護方法の検討、事故防止策などについて話し合いを行います。

オ. 関係機関・地域連携

- (ア) 地域包括支援センター、居宅介護支援事業所と常に情報交換を行い、お客様のニーズ・身体状況等にあった適切なサービスが迅速に提供できるように積極的に連携を図ります。

《利用者目標（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
720	742	710	742	742	720
10月	11月	12月	1月	2月	3月
742	680	647	647	647	752

● 介護予防通所介護・第1号通所事業

《提供するサービス内容》

- ア. 介護予防通所介護計画の作成、生活指導（相談援助等）、機能訓練（日常動作訓練）、介護サービス（移動や排泄の介助、見守り等）、健康状態の確認・送迎・食事・入浴についてのサービスを提供します。また、ご希望に応じ、運動器機能向上や口腔機能向上のためのプログラムを実施します。
- イ. 介護予防通所介護サービス計画の作成にあたっては、お客様の意思を尊重し、心身の状況や生活環境等に応じて、お客様が自立した日常生活を営むことができるよう配慮します。
- ウ. サービス提供にあたっては、関係行政機関、地域の保健・医療・福祉サービス・ボランティア団体等との綿密な連携を図り、総合的なサービス提供の調整と要介護状況の軽減もしくは悪化の防止に努めます。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

ア. 1割負担分

（要支援1・要支援2 週1回程度）	1, 766円
サービス提供体制強化加算（Ⅱ）	52円
（要支援2 週2回程度）	3, 621円
サービス提供体制強化加算（Ⅱ）	52円

※2割負担（対象の方のみ）

（要支援1・要支援2 週1回程度）	3, 531円
サービス提供体制強化加算（Ⅱ）	103円
（要支援2 週2回程度）	7, 241円
サービス提供体制強化加算（Ⅱ）	103円

イ. 加算

運動器機能向上加算	242円（※2割負担：483円）
口腔機能向上加算	161円（※2割負担：322円）
若年性認知症受入加算	258円（※2割負担：515円）
介護職員処遇改善加算	1か月のご利用単位数の1,000分の59に相当する単位数の料金

ウ. 食費負担

650円

エ. キャンセル料金

450円（食材料費相当）

《事業実施日数》 週 6 日（月曜日～土曜日）

※年末年始（12月29日～1月3日を除く）

《提供時間》 9：40 ～ 16：45

《職員体制》

管理者	1名
生活相談員	3名（常勤兼務）
看護職員	4名（非常勤兼務）
介護職員	26名（常勤1名 常勤兼務3名 非常勤22名）
機能訓練指導員	4名（看護職員兼務）
調理員	6名（兼務）
ドライバー	4名（兼務）

《目標》

お客様の心身の特性、生活状況を踏まえ、その有する能力に応じ、自立した生活を行えるように様々なサービスを提供します。また、サービスの提供にあたっては、サービス担当者会議等の検討により援助方針を決定し、お客様のニーズに合わせた最適の計画を立て、実施します。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ア. さらなる個別の対応へ取り組みます。
- イ. お客様の能力、生活状況に応じた自立支援型の援助を行います。
- ウ. 運動器機能向上計画書をもとに、目標の達成を目指して機能訓練指導員が機能訓練を行い、体力チェック、計画の評価を定期的に行います。
- エ. 食事前には嚥下体操、食後には歯磨き指導を行い、安全に美味しくお食事を召し上がって頂きます。口腔内の健康と嚥下能力の維持のため、口腔ケアは皆様に積極的にお勧めしています。
- オ. 書道、折り紙、塗り絵、通信カラオケ、麻雀、絵手紙、脳トレなど、お客様に選択して頂けるように様々なプログラムをご用意しています。
- カ. シルバー体操指導員をお招きしてのリハビリ体操、近隣への外出（戸外機能訓練）など機能訓練の要素を盛り込んだプログラムを実施します。また、初詣、盆踊り運動会など、季節を感じ楽しんでいただける行事も企画します。
- キ. 入浴はゲルマニウム温浴で温泉気分を楽しんで頂き、季節行事として、しょうぶ湯、ゆず湯等をご用意します。体調に合わせてご利用いただけるように、大浴槽、小浴槽と湯温の違う2種類の浴槽を用意しています。
- ク. 食事
 - (ア) 厨房スタッフが栄養バランスを考えた献立を作成し、毎月のテーマを決めて、季節の味覚を盛り込んだボリューム満点の手作りのお料理を提供します。お客様からは好評を頂いています。
 - (イ) お誕生日週間は、バラエティ豊かな味を楽しんで頂くために、おやつを近隣の和菓子屋さんへの注文や、全国の銘菓を取り寄せています。
 - (ウ) 毎月厨房スタッフとの会議を行い、細かくメニューの見直しを行っています。これからも全てのお客様に美味しいと言っていただけるように日々精進します。
- ケ. スタッフ教育
 - (ア) ナース会議、スタッフ会議、厨房会議、ドライバー会議を定期的を実施し、情報を共有するとともにより良いサービスを提供するために話し合いを行います。
 - (イ) 職員間で「報告・連絡・相談」を心掛け、連携の取れたきめ細かいサービス提供に努めます。
 - (ウ) スタッフ一人ひとりが自分で考え、行動できるように必要な知識（個人情報保護、接遇マナー、倫理について、事故防止など）や介護技術の向上のための研修、自主勉強会を年間研修計画作成の上で計画的に実施します。必要に応じて、お客様の個別カンファレンスも実施します。
- コ. 関係機関・地域連携

地域包括支援センター、居宅介護支援事業所と連携を密に図り、お客様のニーズ・身体状況等にあった適切なサービスが迅速に提供できるように努めます。また、利用申し込みに関しても、スムーズにサービス開始ができるように迅速に対応します。

《利用者目標（契約者数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
52	52	52	52	52	52
10月	11月	12月	1月	2月	3月
52	52	42	42	42	42

- 認知症対応型通所介護事業

《提供するサービス内容》

- ア. 認知症対応型通所介護計画の作成、生活指導（相談援助等）、機能訓練（日常動作訓練）、介護サービス（移動や排泄の介助、見守り等）、健康状態の確認、送迎、食事、入浴についてのサービスを提供します。また、ご希望に応じて、個別機能の向上や口腔機能向上のプログラムを実施します。お客様の生活状況などを踏まえて、お一人ずつオリジナルのプログラムを行います。
- イ. 認知症対応型通所介護計画の作成にあたっては、要介護状態の維持・改善を目的に目標の設定をします。お客様のご希望を尊重し、心身の状況や生活全般の環境に応じて、お客様が自立した日常生活を営むことができるよう支援します。そのため、ご家庭での生活に役に立ちそうな情報、ご家族の介護負担の軽減につながりそうな情報など、デイサービスでの様子を詳しくお知らせをしながら、必要に応じてお客様やご家族様からお話を伺い、よりよいサービス提供に役立てます。
- ウ. サービス提供にあたっては、関係行政機関、地域の保健・医療・福祉サービス・ボランティア団体等との綿密な連携を図ります。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

ア. 1割負担分	2割負担（※対象の方のみ）	
（要介護1）	1,072円	（要介護1） 2,144円
（要介護2）	1,188円	（要介護2） 2,376円
（要介護3）	1,305円	（要介護3） 2,609円
（要介護4）	1,422円	（要介護4） 2,844円
（要介護5）	1,539円	（要介護5） 3,077円
イ. 加算	（1割負担分）	（※2割負担）
入浴加算	55円	109円
個別機能訓練加算	30円	59円
口腔機能向上加算	164円	327円
若年性認知症利用者受入加算	66円	131円
サービス提供体制強化加算（I）	7円	13円
送迎減算（片道）	-52円	-103円
介護職員処遇改善加算（I）	1か月のご利用単位数の1,000分の104に相当する単位数の料金	
ウ. 食費負担	650円	
エ. キャンセル料	450円（食材料費相当）	

《事業実施日数》 週 6 日（月曜日～土曜日）
（年末年始（12月29日～1月3日）を除く。）

《提供時間》 9：40 ～ 16：45

《職員体制》	管理者	1名
	生活相談員	4名（兼務）
	看護職員	4名（兼務6名）
	介護職員	21名（常勤兼務1名非常勤兼務20名）
	機能訓練指導員	4名（看護職員兼務）
	調理員	6名（兼務）
	ドライバー	4名（兼務）

《目標に対する取組状況》

お客様の心身の特性や生活状況を踏まえ、自立支援、介護者の介護負担の軽減などの観点からサービス提供を心がけています。サービスの提供にあたっては、サービス担当者会議等で方針を決定し、具体的な介護方法を決定した上で行うと共に、ご利用の際の様子は記録、連絡にて細かく報告致します。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

ア. さらなる取組

- (ア) 少人数制でアットホームな雰囲気でのサービスを目指します。
- (イ) 個別機能訓練は計画書をもとに、お客様一人ずつの目標達成を目指して機能訓練指導員が個別に機能訓練を行います。
- (ウ) 食前には職員による嚥下体操、食後には歯磨き指導を行い、安全に美味しくお食事を召し上がって頂けるように取り組みます。
- (エ) 運営推進会議を開催し、運営状況、取組内容について報告を行うと共に、お客様のお過ごしの様子をご覧いただき、プログラム、お食事の紹介を行います。

イ. 口腔ケアを行い、口腔内の健康と嚥下能力の維持に努めます。

- (ア) 脳トレ、書道、絵手紙、塗り絵、作品制作など、お客様の心身の活性化につながるプログラムを充実させ、お客様に選択して頂きます。
- (イ) お客様個人の目標に合わせて外出（戸外機能訓練）や季節感を取り入れた行事など、機能訓練の要素を盛り込んだプログラムの提供を行います。

ウ. 入浴

- (ア) ゲルマニウム温浴で温泉気分を楽しんで頂くとともに、季節行事としても、しょうぶ湯、ゆず湯等楽しんで頂きます。
- (イ) 入浴の際は、一人ずつスタッフが付き添いで誘導を行い、安全には十分に配慮します。
- (ウ) 車いすの方でも安心して入浴して頂けるように、入浴用のリフターを設置しています。

エ. 食事

- (ア) スタッフが十分に栄養バランスを考えた献立を作成しています。毎月のテーマを決めて、季節の味覚を取り入れ手作りでボリューム満点の美味しい食事を提供します。
- (イ) 誕生日週間は、おやつに近隣の和菓子屋さんへの注文や全国銘菓のお取り寄せなど、ひと味違う味覚を楽しんで頂きます。
- (ウ) 出張寿司、バイキング食、おやつバイキングなどのイベント食を実施し、食の楽しさを提供します。

オ. スタッフ教育

- (ア) 定期的に、スタッフ会議を実施し、情報を共有するとともにより良いサービスを提供するために話し合いや研修を行います。
- (イ) 全員が「報告・連絡・相談」を意識して業務にあたり、よりよいチームワークから、よりよいサービスを提供します。
- (ウ) スタッフ一人ひとりが必要な知識や介護技術の向上のための研修を、年間研修計画を作成のうえ、計画的に実施していきます。

カ. 関係機関・地域連携

- (ア) 地域包括支援センター、居宅介護支援事業所と連携を密に図り、お客様のニーズ・身体状況等にあった適切なサービスが迅速に提供できるように努めます。

《利用者目標（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
198	205	196	205	204	197
10月	11月	12月	1月	2月	3月
205	202	198	198	197	203

平成29年度 「戸部本町地域ケアプラザ」 収支予算書及び報告書（一般会計）

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	15,796,500	0	15,796,500		15,796,500	横浜市より
利用料金収入	0		0		0	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	542,500		542,500		542,500	
自主事業収入	0	0	0	0	0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料	0	0	0	0	0	
駐車場利用料収入	0	0	0	0	0	
その他（施設使用料相当額）	0		0		0	第3期の指定管理施設のみ
その他（法人負担分）	0		0		0	第3期の指定管理施設のみ
収入合計	16,339,000	0	16,339,000	0	16,339,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	12,160,757	0	12,160,757	0	12,160,757	
本俸	10,865,416		10,865,416	0	10,865,416	
社会保険料	1,066,678		1,066,678	0	1,066,678	
手当計			0	0	0	
健康診断費	71,811		71,811	0	71,811	
勤労者福祉共済掛金	6,000		6,000	0	6,000	ハマふれんど等
退職給付引当金繰入額	150,852		150,852	0	150,852	
その他			0	0	0	
事務費	1,082,719	0	1,082,719	0	1,082,719	
旅費	14,072		14,072	0	14,072	
消耗品費	8,967		8,967	0	8,967	
会議賄い費	26,000		26,000	0	26,000	
印刷製本費	168,250		168,250	0	168,250	
通信費	271,641		271,641	0	271,641	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
備品購入費			0	0	0	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	60,737		60,737	0	60,737	
職員等研修費	5,000		5,000	0	5,000	
振込手数料	38,028		38,028	0	38,028	
リース料	490,024		490,024	0	490,024	
手数料			0	0	0	
地域協力費			0	0	0	
その他			0	0	0	
事業費	1,316,556	0	1,316,556	0	1,316,556	
運営協議会経費	40,000		40,000	0	40,000	指定額
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	1,276,556		1,276,556	0	1,276,556	
自主事業費	0	0	0	0	0	
管理費	6,561,744	0	6,561,744	0	6,561,744	
建築物・建築設備点検	47,400		47,400	0	47,400	指定額
光熱水費	2,903,833	0	2,903,833	0	2,903,833	光熱水費は各合計額より、テイの人数1人当たり@531を引いた数字を包括と79:21で按分した数字なので、仮に合計を電気の欄に入力いたしました。
電気料金	2,903,833		2,903,833		2,903,833	
ガス料金			0		0	
水道料金			0		0	
清掃費	2,874,868		2,874,868	0	2,874,868	
修繕費	301,120	0	301,120	0	301,120	
機械警備費	132,230		132,230	0	132,230	
設備保全費	37,627	0	37,627	0	37,627	
空調衛生設備保守			0	0	0	
消防設備保守	37,627		37,627	0	37,627	
電気設備保守			0	0	0	
害虫駆除清掃保守			0	0	0	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費			0	0	0	
共益費			0	0	0	
その他	264,666		264,666	0	264,666	
公租公課	958,834	0	958,834	0	958,834	
事業所税			0		0	
消費税	958,834		958,834	0	958,834	
印紙税			0		0	
その他（ ）			0		0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	0	0	0	0	0	
本部分	0	0	0	0	0	
当該施設分	0	0	0	0	0	
二一ズ対応費			0		0	
支出合計	22,080,610	0	22,080,610	0	22,080,610	
差引	△ 5,741,610	0	△ 5,741,610	0	△ 5,741,610	

平成29年度 「戸部本町地域ケアプラザ」 収支予算書及び報告書（特別会計）

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料（包括）	23,641,000		23,641,000		23,641,000	横浜市より
指定管理料（介護予防）	151,000		151,000		151,000	横浜市より
指定管理料（生活支援）	5,789,000		5,789,000		5,789,000	横浜市より
利用料金収入			0		0	介護保険収入等充当分
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	60,000		60,000		60,000	
自主事業収入	0	0	0	0	0	
雑入	159,000	0	159,000	0	159,000	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料	0	0	0	0	0	
駐車場利用料金収入	0	0	0	0	0	
その他（受入研修費収入）	159,000		159,000		159,000	
その他（ ）			0		0	
収入合計	29,800,000	0	29,800,000	0	29,800,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	28,758,620	0	28,758,620	0	28,758,620	
本俸	23,652,916		23,652,916		23,652,916	
社会保険料	4,454,638		4,454,638		4,454,638	
手当計			0		0	
健康診断費	62,706		62,706		62,706	
勤労者福祉共済掛金	24,000		24,000		24,000	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	564,360		564,360		564,360	
その他			0		0	
事務費	1,099,949	0	1,099,949	0	1,099,949	
旅費	51,020		51,020		51,020	
消耗品費	8,974		8,974		8,974	
会議ठीい費	24,117		24,117		24,117	
印刷製本費	168,251		168,251		168,251	
通信費	287,597		287,597		287,597	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分			0		0	
その他			0		0	
備品購入費			0		0	
図書購入費			0		0	
施設賠償責任保険	6,934		6,934		6,934	
職員等研修費	20,000		20,000		20,000	
振込手数料	38,030		38,030		38,030	
リース料	495,026		495,026		495,026	
手数料			0		0	
地域協力費			0		0	
その他			0		0	
事業費	1,461,982	0	1,461,982	0	1,461,982	
協力医	504,000		504,000	0	504,000	指定額
介護予防事業	151,000		151,000	0	151,000	
生活支援体制整備事業費	309,000		309,000	0	309,000	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	497,982		497,982	0	497,982	
自主事業費	0	0	0	0	0	
管理費	1,854,215	0	1,854,215	0	1,854,215	
建築物・建築設備点検	12,600		12,600	0	12,600	指定額
光熱水費	771,904	0	771,904	0	771,904	
電気料金	771,904		771,904		771,904	光熱水費は各谷計額より、デイの人数1人当たり@531を引いた数字を包括と79：21で按分した数字なので、仮に合計を電
ガス料金			0		0	気の欄に入力いたしました。
水道料金			0		0	
清掃費	764,202		764,202	0	764,202	
修繕費	81,880		81,880	0	81,880	
機械警備費	35,149		35,149	0	35,149	
設備保全費	10,001	0	10,001	0	10,001	
空調衛生設備保守			0	0	0	
消防設備保守	10,001		10,001	0	10,001	
電気設備保守			0	0	0	
害虫駆除清掃保守			0	0	0	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費			0	0	0	
共益費			0	0	0	
その他	178,479		178,479	0	178,479	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税			0		0	
その他（ ）			0		0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	0	0	0	0	0	
本部分	0	0	0	0	0	
当該施設分	0	0	0	0	0	
二一ス対応費			0		0	
支出合計	33,174,766	0	33,174,766	0	33,174,766	
差引	△ 3,374,766	0	△ 3,374,766	0	△ 3,374,766	

平成29年度 自主事業計画書

横浜市戸部本町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護予防コーラス「にこにこ隊」	目的：交流の場の提供、仲間づくり、介護予防 内容：介護予防コーラス（唱歌・動揺等）	毎月第2・4 月曜日 (全24回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おやじの時間	目的：地域の男性の仲間づくり、介護予防、ボランティア育成 内容：中高年の男性の居場所づくり、介護予防	毎月第4火曜日 (全12回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
遅起きラジオ体操in石崎川公園	目的：異世代交流、介護予防、健康保持と増進 内容：石崎川公園にてラジオ体操を実施	毎週土曜日 (全50回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防コーラス『歌の広場』	目的：介護予防・仲間づくり・交流の場の提供 内容：介護予防コーラス（童謡・唱歌など）	毎月第3火曜日 (全13回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
MMフォレシス出張相談会	目的：MMフォレシスタワー住民へのケアプラザ周知及び地域活動への参加促進。 内容：MMフォレシスコミュニティと協力し、住民を対象とした出張での健康及び介護予防と相談会の開催。	全3回

平成29年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
福祉用具相談 ・展示事業 「転ばぬ先の杖」	目的：効果的に福祉用具を利用することにより、介護予防に繋げる。福祉用具相談の充実を図る。 内容：福祉機器の展示・相談・紹介	全8回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
エンジョイ！ノルディックウォーキングinみなとみらい	目的：みなとみらい地区での介護予防・健康増進・住民同士の交流 内容：ノルディックウォーキング	毎月第1・3土曜日 (全19回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座	目的：認知症の理解と啓発・ケアプラザの周知・認知症サポーターの育成 内容：地域住民向け・友愛会のメンバー向けに認知症の理解や啓発の為の講座	全3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
遅起きラジオ体操inみなとみらい	目的：健康増進・介護予防・異世代交流・ケアプラザの周知 内容：高島中央公園でのラジオ体操	毎月第1日曜日 (全11回)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
回想法勉強会	目的：ボランティアの育成 内容：回想法実施による勉強会	毎月1回 (全11回)

平成29年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアマネサロン	目的・エリアのケアマネジャーの質の向上、スキルアップ 内容・ケアマネジャーへの研修会の開催、企画、運営	全8回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出前講座	目的：介護予防・権利擁護啓発・ケアプラザの周知・関係機関との連携強化 内容：地区社協食事会・老人会・ふれあい会などに出向き介護予防や権利擁護・認知症等についての講話や体操・レクリエーションの実施	全10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
わたぼうしカフェ 認知症カフェ支援	目的：認知症啓発・認知症の方と家族の支援 内容：西区在宅介護者の会「あけぼの会」が主催するわたぼうしカフェの後方支援にて、個別相談や地域情報提供のために対応する	毎月第3土曜日 (全12回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
元気づくりステーション「楽しく明るく元気サロン」	目的：地域（西前小学校コミュニティハウス）での介護予防。 内容：後方支援（長期欠席者の把握等）	毎月第1・3木曜日 (全24回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
元気づくりステーションに類する活動「元気サロン」	目的：地域（戸部コミュニティハウス）での介護予防。 内容：後方支援（部員募集、長期欠席者の把握等）	毎月第1・3木曜日 (全24回)

平成29年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
西区社会福祉士共催「権利擁護事業」開催	目的：権利擁護啓発 内容：区内社会福祉士共催による高齢者虐待予防研修及び成年後見制度啓発講座の開催	全2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
家族介護者の集い	目的：家族介護者の負担軽減 内容：西区在宅介護者の会「あけぼの会」と連携し、家族介護者同士の交流及びレスパイト	全5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
藤棚らいぶステーション出張相談会	目的：藤棚らいぶステーション活動支援及び相談会開催 内容：藤棚らいぶステーションでの出張相談会	偶数月第4木曜日 (全6回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア講座 はじめの一步を始める前に	目的：福祉活動の啓発・人材育成・よこはまシニアボランティアポイントの普及 内容：ボランティア講座・ボランティアの活動紹介・よこはまシニアボランティアポイント登録説明会	全4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みんなで遊ぼう	目的：子育て支援・乳幼児親子の交流の場の提供 情報提供 内容：プレイルールの解放、ミニ企画の実施（リトミック、体操プログラムなど）	毎月第2・4木曜日 (全21回)

平成29年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ゆっくりフラダンス ロケラニ	目的：ケアプラザの周知・ニーズ把握・介護予防 内容：フラダンスを通しての介護予防	毎月第1・3水曜日 (全22回)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
コミュニティー キッチン5	目的：異世代交流 障がい者理解 内容：支え合い連絡会から発展した異世代交流会（会食会）	平成29年8月 (全1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
きらきら健康ス トレッチ	目的：交流の場の提供・仲間づくり・介護予防 内容：ストレッチ体操	毎月第1・3金曜日 (全17回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
手打ちうどんを 作ろう	目的：交流の場の提供・仲間づくり 福祉活動団体の活動の場の提供 内容：手打ちうどん作りと試食	未定 (全1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
第15回戸部本町 地域ケアプラザ まつり	目的：交流の場の提供・ボランティアの育成・各団体の交流支援 内容：模擬店・演技発表・健康づくりコーナー・こども交流コーナー など	平成29年11月 (全1回)

平成29年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア感謝会&交流会	<p>目的：ボランティアニーズの把握・交流の場の提供 仲間作り支援</p> <p>内容：ケアプラザにボランティア登録してくださっている方々を対象とした会食・交流会</p>	平成30年3月 (全1回)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
にっこり亭	<p>目的：地域住民の交流 食の提供 つながりづくり 福祉活動の場提供</p> <p>内容：会食会 自主事業「はりきりクッキング」の参加者が調理を担う</p>	全4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
障がい児余暇支援 ○△□	<p>目的：障がい児や病気のある未就学児親子の仲間づくり。情報交換・情報提供。関係機関との連携。</p> <p>内容：西区役所・ガッツビーと西と共催にて実施。親子の遊び場と交流、情報提供</p>	5月・10月 (全2回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ママ友倶楽部	<p>目的：0歳児親子の仲間づくり 育児不安の解消</p> <p>内容：ベビーマッサージ 産後ママのボディケア</p>	毎月第1.3火曜日 (全24回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
はり切りカフェ	<p>目的：高齢者の閉じこもり防止し外出の機会を提供する。脳の活性化、介護予防。 地域住民の交流、仲間づくり。</p> <p>内容：高齢者が交流を図りながら手芸等で手指を使い介護予防をするサロン。個別相談等に対応する機会の提供</p>	毎月第2水曜日 (全21回)

平成29年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
パパとママのための救急講座	目的：乳幼児養育者への情報提供 内容：西消防署と共催事業。講師を招き、情報提供	(全1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
わいわいクラブ 初夏のコンサート	目的：音楽を通しての地域住民交流・高齢者の外出の場・ケアプラザ周知 内容：早稲田大学OBわいわいクラブによる男性合唱団コンサート	平成29年7月24日 (全1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
大人のチャレンジ塾	目的：中高年の仲間づくり、ケアプラザ周知 内容：アレンジフラワー みそづくり ほか	全4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
父親育児講座	目的：父親の育児支援、仲間作り 内容：父親ならではの育児講座、父親の仲間づくり	未定

事業名	目的・内容	実施時期・回数
レッツ・シング	目的：中高年の仲間づくり・生きがいづくり・ケアプラザの周知・新規事業参加者の獲得 内容：ゴスペルを通して地域住民の交流を図り、ストレスの解消	第2・4水曜日 (全24回)

平成29年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
アクティブシニアのはりきりクッキング	目的：団塊世代の仲間づくり、地域デビュー 備えておくべき知識の学習 内容：調理の習得 ボランティア活動	第4水曜日 (全12回)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
すいせん茶寮	目的：主に高齢者の居場所づくり・介護予防 内容：3A（ゲーム）回想法	第2水曜日 (全12回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
アクティブシニアの鎌倉ハイキング	目的：中高年の仲間作り・生きがいつくり ケアプラザの周知 新規事業参加の獲得 内容：鎌倉散策 健康づくりと交流を図る	平成29年5月23日・12月 (全2回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
浜ろう高齢者部 介護予防体操	目的：障害者支援 介護予防の啓発 内容：貸室利用団体である浜ろう高齢者親睦会と共催で、聴覚障害の高齢者を対象に介護予防体操をする	平成29年4月・6月 (全2回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアぷらっと歩こう一万歩	目的：健康づくり 団塊世代への発信 内容：地域福祉保健計画の推進 健康スタンプラリー ウォーキングポイント事業の推進	通年

平成29年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
アクティブシニアのMusicHouse	目的：中高年の仲間作り・生きがいつくり ケアプラザの周知 新規事業参加の獲得 内容：団塊世代の音楽を通じた交流 楽器の演奏 ほか	毎月第1土曜日 (全11回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
昼間のお月見	目的：高齢者の居場所づくり、外出の機会提供 内容：大型スクリーンを見ながら野だて風にお菓子と抹茶をいただく	平成29年9月 (全1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て支援講座	目的：乳幼児親子の育児支援 情報提供 内容：乳幼児養育者への情報提供	未定

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ハマのオヤジゼミナール	目的：中高年新規事業参加者の拡充 既存自主グループの活性化 内容：未定 共催：西区社会福祉協議会	未定

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ハロウィン親子コンサート	目的：音楽を通じた乳幼児親子の交流 内容：親子コンサート 子育て中の母親たちによる団体	平成29年10月31日 (全1回)

平成29年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みなとみらい秋まつり「出張相談会」	目的：総合相談 ケアプラザ周知 みなとみらい地区との連携 内容：みなとみらい秋まつりでブースを設け出張相談 ケアプラザ機能、自主事業のチラシ配布	平成29年4月・6月 (全4回)

平成29年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防普及強化業務委託「西区介護予防講座2017 ロコモ体操」	目的：「ロコモ」の周知。地域における介護予防のグループ活動を広める。介護予防に資する活動の育成・支援を行う。 内容：介護予防の必要性・ロコモティブシンドロームの予防・認知症予防・栄養・口腔改善	平成29年5月1日・15日・29日、6月5日・19日・7月3日 (全6回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防普及強化業務委託「西区介護予防講座2017 アロマでいきいき生活in西前小コミハ」	目的：地域で見守り育成支援。アロマで脳トレ（認知症予防）。 内容：アロマオイルや庭に植えているハーブを用いる。嗅覚・大脳辺縁系について解剖学を学ぶ。	平成29年6月7日 (全1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防普及強化業務委託「西区介護予防講座2017 お弁当で簡単栄養術」	目的：栄養改善。低栄養にならないための工夫。 内容：コンビ二弁当を使った調理術。	平成29年8月21日 (全1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防普及強化業務委託「西区介護予防講座2017 口腔ケアin西前小コミハ」	目的：口腔機能とは。唾液の分泌について。出張講座。 内容：笑いの効能。口腔体操。	平成29年9月10日・平成30年1月21日 (全2回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防普及強化業務委託「西区介護予防講座2017 口腔講座」	目的：口腔機能とは。唾液の分泌について。 内容：個別相談。ブラッシングの当て方。適切な歯ブラシとは。	平成29年11月26日 (全1回)

平成29年度 自主事業収支計画書

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
介護予防コーラス 「にこにこ隊」	高齢者	28,272	28,272	0	22,272	6,000	0
	30名						
	なし						
介護予防コーラス 「歌の広場」	高齢者	28,272	28,272	0	22,272	6,000	0
	30名						
	なし						
遅起きラジオ体操 in石崎川公園	地域住民	39,120	39,120	0	0	10,000	29,120
	20名						
	なし						
遅起きラジオ体操 inみなとみらい	地域住民	9,720	9,720	0	0	3,000	6,720
	20名						
	なし						
おやじの時間	60歳以上男性	11,720	11,720	0	0	5,000	6,720
	15名						
	なし						
ノルディックウォーキング inみなとみらい	地域住民	85,448	45,448	40,000	61,248	13,000	11,200
	15名						
	300円						
福祉用具相談・展示事業 転ばぬ先の杖	地域住民	10,000	10,000	0	0	10,000	0
	40名						
	なし						
認知症サポーター養成講座	地域住民	2,000	2,000	0	0	2,000	0
	80名						
	なし						
回想法勉強会	地域住民	50,000	50,000	0	50,000	0	0
	50名						
	なし						
ケアマネサロン	ケアネジャー	20,000	20,000	0	15,000	5,000	0
	200名						
	なし						
家族介護者のつどい	地域住民	24,000	24,000	0	20,000	2,000	2,000
	15名						
	なし						
わたぼうしカフェ	地域住民	10,000	10,000	0	0	10,000	0
	200名						
	なし						

平成29年度 自主事業収支計画書

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
出前講座	地域住民 20名 なし	5,000	5,000	0	0	5,000	0
みなとみらいフォレシス 出張相談会	ケアマネジャー 50名 なし	10,000	10,000	0	0	10,000	0
藤棚らいぶステーション 出前相談会	地域住民 50名 なし	20,000	20,000	0	10,000	10,000	0
西区社会福祉士「権利擁護」 共催事業	地域住民 65名 なし	25,000	25,000	0	20,000	5,000	0
元気づくりステーション「楽しく 明るく元気サロン」	高齢者 20名 なし	0	0	0	0	0	0
元気づくりステーションに類 する活動「元気サロン」	高齢者 20名 なし	0	0	0	0	0	0
にっこり亭	地域住民 なし 800円	48,000	0	48,000	0	48,000	0
すいせん茶寮	事業者 180名 なし	37,200	19,200	18,000	0	30,000	7,200
みんなで遊ぼう	未就園児保護者 750名 0～300円	70,000	46,000	24,000	55,680	520	13,800
ゆっくりフラダンス ロケラニ	地域住民 200名 500円	0	0	0	0	0	0
コミュニティーキッチン5	地域住民 135名 200円	50,000	30,000	20,000		47,760	2,240
きらきら健康ストレッチ	地域住民 345名 200円	141,864	72,864	69,000	128,064	0	13,800
手打ちうどんを作ろう	地域住民 15名 500円	10,000	2,500	7,500	0	10,000	0

平成29年度 自主事業収支計画書

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
ボランティア感謝会 & 交流会	ボランティア	70,000	70,000	0	10,000	58,000	2,000
	45名						
	なし						
第15回戸部本町地域ケアプラザまつり	地域住民	200,000	200,000	0	0	100,000	100,000
	800名						
	なし						
障がいや病気のある未就学児とその家族のつどい○△□	障害児と保護者	0	0	0	0	0	0
	20名						
	なし						
ママ友倶楽部	0歳児・保護者	132,000	0	132,000	126,820	5,180	0
	440名						
	200円						
はり切りカフェ	高齢者	40,000	0	40,000	15,000	25,000	0
	400名						
	100円						
パパとママのための救急講座	乳幼児養育者	0	0	0	0	0	0
	50名						
	なし						
わいわいクラブ 初夏のコンサート	地域住民	20,000	20,000	0	15,000	5,000	0
	60名						
	なし						
大人のチャレンジ塾① アレンジフラワー	中高年	15,568	5,568	10,000	5,568	10,000	0
	10名						
	1000円						
屋間のお月見	高齢者	4,000	3,000	1,000	0	4,000	0
	10名						
	100円						
レッツ・シング	中高年	267,288	138,288	129,000	267,288	0	0
	273名						
	500円						
アクティブシニアの はりきりクッキング	団塊世代	246,816	66,816	180,000	66,816	180,000	0
	180名						
	1000円						
アクティブシニアの 鎌倉ハイキング	団塊世代	15,000	0	15,000	0	13,880	1,120
	30名						
	500円						
アクティブシニアの Music House	中高年	8,000	8,000	0	0	8,000	0
	120名						
	なし						
ボランティア講座 はじめの一歩をはじめる前に	地域住民	0	0	0	0	0	0
	20名						
	なし						

平成29年度 自主事業収支計画書

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
介護予防普及啓発「西区介護予防講座2017 ロコモ体操」	65歳以上	15,000	15,000	0	0	15,000	0
	20名						
	0円						
介護予防普及啓発「西区介護予防講座2017 アロマでいきいき生活in西前小コミハ」	65歳以上	16,250	16,250	0	10,000	5,500	750
	15名						
	0円						
介護予防普及啓発「西区介護予防講座2017 お弁当で簡単栄養術」	65歳以上	15,000	15,000	0	0	15,000	0
	15名						
	0円						
介護予防普及啓発「西区介護予防講座2017 口腔ケアin西前小コミハ」	65歳以上	15,000	15,000	0	0	15,000	0
	20名						
	0円						
介護予防普及啓発「西区介護予防講座2017 口腔講座」	65歳以上	15,000	15,000	0	0	15,000	0
	20名						
	0円						